

# 第1回家畜衛生技術検討会を開催しました

令和3年7月26日

岐阜大学との連携事業の一環として、家畜衛生にかかる連携事業や共同研究などについて、情報共有や検討する場として、家畜衛生技術検討会を開催しています。今年度の第1回は、今年度岐阜大学と共同で実施している「鶏における鶏伝染性気管支炎（IB）ウイルス保有状況調査」について、中間報告を兼ねて意見交換を行いました。

## ■日時

令和3年7月21日（水）10:00～11:30

## ■場所

岐阜県中央家畜保健衛生所 講義室1

## ■調査内容

- ・鶏におけるIBウイルスの分布調査
- ・IBウイルス流行予測のための検査方法の検討



（発表の様子）



（IBウイルスに感染した鶏の卵と正常な卵の比較）

## ＜鶏伝染性気管支炎とは＞

鶏伝染性気管支炎ウイルス（IBウイルス）の感染により鶏が発症する病気。家畜伝染病予防法で規定されている届出伝染病であり、日本をはじめ全世界に広く分布している。単独の感染による致死率は低いものの、伝播力は非常に強い。多くの種類の生・不活化ワクチンが使用されているが、流行株との抗原性の違い等により、十分な効果が得られないことがある。症状としては、呼吸器症状や産卵低下などの産卵障害などがあり、腎炎を起こすこともある。

※鶏伝染性気管支炎に関する詳細はこちらをご覧ください。

○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

[http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease\\_dictionary/todoke/t57.html](http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_dictionary/todoke/t57.html)